



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月31日

上場会社名 日鍛バルブ株式会社
 コード番号 6493 URL <https://www.niv.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 金原 利道
 (氏名) 大野 浩
 TEL 0463-82-1311

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	28,261	16.2	1,435		1,599		552	
2021年3月期第3四半期	24,315	23.3	981		643		751	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,748百万円 (%) 2021年3月期第3四半期 1,091百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	19.21	
2021年3月期第3四半期	26.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	54,817	30,685	42.5
2021年3月期	54,134	29,635	41.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 23,283百万円 2021年3月期 22,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		3.00		4.00	7.00
2022年3月期		5.00			
2022年3月期(予想)				6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,530	11.0	2,220		2,240	496.5	1,060	58.1	36.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	28,978,860 株	2021年3月期	28,978,860 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	165,273 株	2021年3月期	233,743 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	28,783,155 株	2021年3月期3Q	28,728,361 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(会計方針の変更)	P. 9
(収益認識関係)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10
3. 参考情報	P. 12
(1) 所在地別セグメント	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済および海外経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」）による厳しい状況が徐々に緩和されるなかで持ち直しの動きが続きましたが、変異株による感染症拡大の影響が懸念されるなど不透明な状況での推移となりました。先行きにつきましても、感染症の動向に加え原材料価格の動向、為替・株価の変動影響等に留意する必要があります。

また、当社グループが最も影響を受ける自動車業界の市場におきましては、需要は回復傾向にあるものの世界的な半導体等の部品不足や感染症拡大の影響によるサプライチェーンの混乱や生産調整は依然として続いており、本格的な回復に至っておりません。先行きにつきましても、半導体等部品不足の長期化影響や感染症の動向等に留意する必要があります。予断を許さない状況です。

このような状況下、当社グループは、「基盤強化」、「永続的發展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策や取り組みを積極的に展開してまいりました。また、当社グループのグローバル戦略である『NITTANチャレンジ10』につきましても、「既存事業の付加価値追求」と「新規事業化や商品化によるSDGs（持続可能な開発目標）への貢献」を具現化すべく、グループ一体となって鋭意推進しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましても、感染症の影響が甚大であった前年同期と比べ大幅な増収となりました。

国内事業は、部品不足や感染症拡大による生産調整の影響や一部製品の生産拠点移管等の減収要因はありましたものの、感染症影響からの回復等により、前年同期に比べ大幅な増収となりました。海外事業は、中国子会社の量産開始、感染症影響からの回復、為替換算の円安効果等により、前年同期に比べ大幅な増収となりました。

この結果、売上高は、282億61百万円（前年同期比16.2%増）となりました。

損益面につきましても、期初計画を下回る結果となったものの、国内事業の受注回復、中国子会社の量産開始、為替換算の円安効果等により、前年同期比では損失計上から利益計上に転じ、営業利益14億35百万円（前年同期は営業損失9億81百万円）、経常利益15億99百万円（前年同期は経常損失6億43百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億52百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失7億51百万円）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、新たに中国に設立した日照艾斯琵汽車部件有限公司を持分法適用の関連会社としております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結累計期間より報告セグメントを一部変更しております。

<小型エンジンバルブ>

国内事業は、感染症影響からの回復等の増収要因はありましたものの、部品不足等による生産調整の影響や中空エンジンバルブの生産拠点移管等により四輪車用エンジンバルブが前年同期に比べ減収となりました。二輪車用エンジンバルブは、生産調整の影響は一部でありましたものの感染症影響からの回復等により増収となりました。

海外事業は、生産調整の影響は一部でありましたものの、中国子会社における中空エンジンバルブの量産開始、感染症影響からの回復、為替換算の円安効果等により、前年同期に比べ大幅な増収となりました。

汎用エンジンバルブは、感染症影響からの回復等により主に船外機用製品の受注が増加し、前年同期に比べ大幅な増収となりました。

当セグメントの損益面につきましても、国内外事業の受注回復、中国子会社の量産開始、為替換算の円安効果等により利益計上に転じました。

この結果、当セグメントの売上高は、223億56百万円（前年同期比17.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、14億33百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）4億13百万円）となりました。

＜舶用部品＞

舶用部品につきましては、国内顧客向け製品は本格的な回復に至っておりませんが、海外顧客向けの船舶用補用製品の受注が感染症影響からの回復等により大幅に増加し、前年同期に比べ増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、主力製品の受注回復やコスト削減等により利益計上に転じました。

この結果、当セグメントの売上高は、23億27百万円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益（営業利益）は、60百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億40百万円）となりました。

＜歯車＞

歯車につきましては、部品不足等による生産調整の影響は一部でありましたものの感染症影響からの回復等により、自動車用製品が前年同期に比べ大幅な増収、産業機械用製品についても増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、依然として損失計上であるものの主力製品の受注回復やコスト削減等により損失幅が縮小しました。

この結果、当セグメントの売上高は、20億11百万円（前年同期比21.3%増）、セグメント損失（営業損失）は、82百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）2億84百万円）となりました。

＜PBW＞

PBWにつきましては、部品不足等による生産調整の影響は一部でありましたものの感染症影響からの回復等により、前年同期に比べ増収となりました。

当セグメントの損益面につきましては、当該製品の受注回復等により利益計上に転じました。

この結果、当セグメントの売上高は、8億98百万円（前年同期比24.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、3百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1億13百万円）となりました。

＜その他＞

バルブリフターにつきましては、一部製品の転注等により前年同期に比べ減収となりました。

可変動弁につきましては、量産終了に向けた補用品調整のため前年同期に比べ増収となりました。

工作機械につきましては、グループ内部での取引が増加し増収となりました。

ロイヤルティーにつきましては、グループ内部での取引が増加し増収となりました。

農作物につきましては、販路拡大に鋭意取り組んでおりますが、感染症影響もあり減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、23億47百万円（前年同期比37.6%増）、セグメント利益（営業利益）は、26百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）92百万円）となりました。

なお、当セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高16億78百万円を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、548億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億83百万円の増加となりました。

資産の部の流動資産は、223億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億97百万円の増加となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が6億66百万円減少した一方、現金及び預金が7億17百万円、商品及び製品が3億20百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、324億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して85百万円の増加となりました。この主な要因は、建物及び構築物（純額）が3億71百万円増加した一方、機械装置及び運搬具（純額）が5億48百万円減少したことなどによるものであります。

負債の部の流動負債は、128億61百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億62百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金が6億34百万円、支払手形及び買掛金が3億2百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は、112億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億29百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が16億29百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の部は、306億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億49百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が2億93百万円、為替換算調整勘定が5億35百万円、非支配株主持分が3億43百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想は、2021年10月29日公表の「業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,004,558	6,721,627
受取手形及び売掛金	7,635,919	6,969,056
商品及び製品	2,453,347	2,774,196
仕掛品	1,432,800	1,474,214
原材料及び貯蔵品	3,030,600	3,199,518
その他	1,223,360	1,228,646
貸倒引当金	△12,542	△1,949
流動資産合計	21,768,045	22,365,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,674,594	7,046,162
機械装置及び運搬具(純額)	14,961,815	14,413,733
土地	1,108,444	1,108,909
建設仮勘定	1,527,983	1,663,924
その他(純額)	467,928	560,749
有形固定資産合計	24,740,766	24,793,479
無形固定資産		
投資その他の資産	572,409	576,956
投資有価証券	6,239,579	6,195,069
出資金	930	154,455
長期貸付金	48,173	41,393
繰延税金資産	555,701	493,979
その他	230,454	218,538
貸倒引当金	△21,682	△21,548
投資その他の資産合計	7,053,155	7,081,889
固定資産合計	32,366,331	32,452,324
資産合計	54,134,377	54,817,634

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,648,776	2,950,888
短期借入金	5,111,269	5,745,929
1年内償還予定の社債	84,000	84,000
未払法人税等	269,798	306,582
賞与引当金	345,894	88,689
役員賞与引当金	22,470	—
その他	3,216,864	3,685,900
流動負債合計	11,699,073	12,861,991
固定負債		
社債	306,000	264,000
長期借入金	7,201,928	5,572,779
繰延税金負債	1,657,037	1,641,185
退職給付に係る負債	3,478,085	3,505,795
その他	156,964	286,831
固定負債合計	12,800,015	11,270,591
負債合計	24,499,089	24,132,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,530,543	4,530,543
資本剰余金	4,493,732	4,493,732
利益剰余金	13,169,002	13,462,339
自己株式	△69,647	△49,249
株主資本合計	22,123,630	22,437,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,424,179	2,253,496
繰延ヘッジ損益	△1,102	100
為替換算調整勘定	△1,822,044	△1,286,293
退職給付に係る調整累計額	△147,572	△120,858
その他の包括利益累計額合計	453,460	846,445
非支配株主持分	7,058,196	7,401,241
純資産合計	29,635,287	30,685,052
負債純資産合計	54,134,377	54,817,634

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	24,315,166	28,261,838
売上原価	22,619,721	24,060,256
売上総利益	1,695,444	4,201,582
販売費及び一般管理費	2,676,545	2,766,289
営業利益又は営業損失(△)	△981,101	1,435,292
営業外収益		
受取利息	22,554	18,834
受取配当金	139,939	145,756
為替差益	17,238	—
持分法による投資利益	92,317	74,595
雑収入	204,791	84,935
営業外収益合計	476,841	324,122
営業外費用		
支払利息	123,085	135,255
為替差損	—	10,045
雑損失	16,630	14,502
営業外費用合計	139,715	159,803
経常利益又は経常損失(△)	△643,975	1,599,611
特別利益		
固定資産売却益	1,551	6,343
投資有価証券売却益	373,389	50
特別利益合計	374,940	6,393
特別損失		
固定資産売却損	5,392	5,124
固定資産除却損	90,455	32,092
減損損失	2,311	—
特別損失合計	98,158	37,217
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△367,194	1,568,788
法人税等	254,944	599,586
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△622,138	969,202
非支配株主に帰属する四半期純利益	129,289	416,231
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△751,427	552,970

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△622,138	969,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	376,288	△170,406
繰延ヘッジ損益	—	1,259
為替換算調整勘定	△864,704	851,173
退職給付に係る調整額	56,652	23,518
持分法適用会社に対する持分相当額	△37,673	73,999
その他の包括利益合計	△469,436	779,545
四半期包括利益	△1,091,575	1,748,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△891,188	945,955
非支配株主に係る四半期包括利益	△200,386	802,791

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、新たに設立した日照艾斯琵汽車部件有限公司を持分法適用の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(法人税等の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これによる主な変更点としては、変動対価が含まれる取引については、販売時に仮価格で収益を認識し、その後顧客との交渉状況に応じて金額の見直しを行って行っておりましたが、取引の対価の変動部分の額を見積り、認識した収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り取引価格に含める方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は34,645千円減少し、売上原価が3,558千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ38,204千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は313千円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	小型エンジンバルブ	舶用部品	歯車	PBW	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,049,502	2,061,684	1,657,639	719,632	23,488,458	826,707	24,315,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	879,492	879,492
計	19,049,502	2,061,684	1,657,639	719,632	23,488,458	1,706,200	25,194,659
セグメント損失(△)	△413,016	△140,549	△284,286	△113,661	△951,513	△92,570	△1,044,083

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、可変動弁、バルブリフター、工作機械製造販売、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△951,513
「その他」の区分の損失(△)	△92,570
セグメント間取引消去	169,779
全社費用(注)	△106,797
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△981,101

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	小型エンジン バルブ	船用部品	歯車	PBW	計		
売上高							
日本	7,674,367	2,327,315	2,011,262	898,398	12,911,344	668,775	13,580,120
アジア	10,316,881	—	—	—	10,316,881	—	10,316,881
北米	3,863,029	—	—	—	3,863,029	—	3,863,029
欧州	501,807	—	—	—	501,807	—	501,807
外部顧客への売上高	22,356,086	2,327,315	2,011,262	898,398	27,593,063	668,775	28,261,838
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	1,678,377	1,678,377
計	22,356,086	2,327,315	2,011,262	898,398	27,593,063	2,347,152	29,940,216
セグメント利益又は損 失(△)	1,433,742	60,238	△82,482	3,731	1,415,230	26,549	1,441,779

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、可変動弁、バルブリフター、工作機械製造販売、ロイヤルティ、農作物等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,415,230
「その他」の区分の利益	26,549
セグメント間取引消去	102,568
全社費用(注)	△109,055
四半期連結損益計算書の営業利益	1,435,292

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来、「可変動弁・歯車・PBW」としていた報告セグメントについて、明瞭性を高めるため、「歯車」及び「PBW」に区分を変更して表示しております。また、可変動弁につきましては、量産終了に伴い重要性が低下したため、「その他」に含めて表示する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

また、会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

3. 参考情報

(1) 所在地別セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,235,683	8,193,570	3,395,481	490,430	24,315,166	—	24,315,166
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,319,025	567,092	11,272	—	1,897,390	△1,897,390	—
計	13,554,709	8,760,662	3,406,753	490,430	26,212,556	△1,897,390	24,315,166
営業利益又は 営業損失(△)	△1,500,001	364,078	△55,288	△26,968	△1,218,180	237,079	△981,101

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・・・台湾、中国、インドネシア、タイ、ベトナム、インド

北米・・・アメリカ

欧州・・・ポーランド

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	日本	アジア	北米	欧州	合計	消去 又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,580,120	10,316,881	3,863,029	501,807	28,261,838	—	28,261,838
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,425,825	655,278	1,425	—	2,082,530	△2,082,530	—
計	15,005,945	10,972,160	3,864,455	501,807	30,344,369	△2,082,530	28,261,838
営業利益又は 営業損失(△)	△110,391	1,773,107	△181,039	△60,345	1,421,330	13,961	1,435,292

(注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・・・台湾、中国、インドネシア、タイ、ベトナム、インド

北米・・・アメリカ

欧州・・・ポーランド